



長建計第1-20号

平成19年5月7日

国土交通省道路局長 様

静岡県駿東郡長泉町長 遠藤 日出夫



中期的な計画の策定にあたっての意見書

貴職におかれましては、日ごろから町の道路行政に対して、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、標記の件につきまして別紙のとおり、意見書を提出しますので、中期計画に盛り込んでくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

長泉町建設計画課 計画グループ

担当 大川智生

電話 055(989)5520

中期的な計画の策定にあたっての意見書

道路は、国民生活や社会・経済活動を支え、文化振興や地域間交流を促進する最も基礎的な社会基盤であり、重点的かつ効率的に整備していく必要がある。

当町は、静岡県の東部に位置し、東名高速道路や国道 246 号等が集中する交通の要衝にあり、道路が地域の発展に大きく寄与している。

現在、伊豆縦貫自動車道の一部である東駿河湾環状道路や第二東名高速道路の整備が進められており早期の完成が熱望される。

また、当町の道路整備状況は、高規格道路とのアクセス道路の整備が十分ではないため、事業の促進、地域の交通安全対策または高齢化社会に対応した道路整備が緊急の課題となっている。

このような状況下において、都市計画道路、幹線道路や生活道路の整備水準が低く、交通渋滞が慢性化しており、住民の利便性と快適性が損なわれていることなどから一層の道路整備が住民から求められている。

町も最大の努力をしており、事業着手している都市計画道路池田柵線、都市計画道路高田上土狩線等の事業におきましては、早期に完成するよう国庫補助による厚い支援を最後までお願いしたい。

このような状況を踏まえた上で、限られた予算で最大限の効果を発揮するためには、事業のスピードアップを図るなどスケジュール管理を徹底し、道路建設にかかるコスト縮減を徹底する必要がある。

また、渋滞対策として交差点改良、バイパスの整備や開かずの踏み切りの解消などを積極的に行い、交通事故を減少させるべきである。

これからの道路に求められることは、車両が安全に通行できることは当然であるが歩行者や自転車の安全にも目を向けて整備しなければならない。バリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れて、人が楽しんでウォーキングなどできる空間が必要とされている。

以上のことを踏まえ、中期計画の策定におきましては、現状を十分に把握していただき、必要な道路には予算を確保していただきたい。